

送辞

日に日に寒さも和らぎ、眠っている桜の芽も、今か今かと芽吹く瞬間を待ち望んでいます。このようなよき日に、卒業式を迎えられた三年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

在校生一同、心よりお祝い申し上げます。今年度は新型コロナウイルスによる規制も緩和され、四年ぶりに在校生も含めた卒業式を行うことができました。

皆さんは今、この郷原中学校で過ごした三年間をどのように振り返っていらっしやるのでしょうか。先輩方には体育大会、文化活動発表会などの行事をはじめ、部活動、クラスマッチなど大変お世話になりました。

特に先輩方との思い出の中で、一番に思い起こされるのは、団結力が大きく問われる合唱コンクールです。今年度、先輩方は下級生には非公開で練習を行われていましたね。

私たちも穏やかでない気持ちをもつと同時に、一体どのような合唱になるのだろうかと期待も膨らんでいきました。本番では、クラス一丸と なって、希望に満ちた力強い歌声で、私たちの胸に響くような合唱を見せていただきました。そして、その歌声は私たちの期待を大きく上回っており、圧倒されました。そんな先輩方の姿は大きく、とても美しいものでありました。

また、先輩方には保健委員会主催

のクラススマッチでも立派な姿を見せていたいただきました。試合中は全力プレー、試合後は、クラス分け隔てなく温かい雰囲気がありました。

今まで、三学年での関わり合いは体育大会や、文化活動発表会などの行事でしかありませんでした。

しかし、このクラスマッチでは異なる学年とも対戦して、「関わる」という機会が増え、とても良い思い出となったと思います。

最後の三年生同士の対戦は胸に迫るものでした。女子同士の決勝戦では声かけによるチームワークを発揮しており、そこで男子は、大きな声かけと共にたくさんの応援合戦をくり広げておられましたね。

会場には活気があふれていました。そのような先輩方の姿を見て学校全体は笑顔でいっぱいになっていったと思います。

先輩方のこのような姿は、行事に限らず常日頃から目にする事ができます。また、私は入学当初中学校生活という環境の変化に緊張や不安をかかえていました。

しかし、先輩方はいつも笑顔を絶やさず、その場はとても明るい雰囲気です、いつのまにか不安な気持ちを取り除かれました。主体的に行動する先輩方のこのような姿はまさに郷原中学校の校訓である「自律」の実践でした。

先輩方はこれから自分の夢に向かってそれぞれの道で歩んでいかれます。辛いこともあれば楽しいこともあるでしょう。

そのような時は、今まで共に過ごしてきた仲間のことを忘れずに、自分の道を切り開いていってください。私たちは部活動でも行事でも頼られる先輩方の姿を見習い、自分の進路と向き合ってください。そして、先輩方が受け継いでこられた郷原中学校の伝統を守り、受け継いでいきます。

最後となりましたが、卒業生の皆さまのご健康とさらなるご活躍を心よりお祈りし、在校生代表の送辞とさせていただきます。

令和六年 三月七日

在校生代表 丸石 咲